

# 長野県松本市島立(町区)における 祝言のあいさつ

沖 裕子

## ○はじめに

1. 対象地の地理的環境：松本市中心部から国道158号線で約5キロほど西に行ったところ。安曇平へと続くひろがりのある平らな土地にある。  
数年前、長野自動車道のインターチェンジが、集落の東約1キロほどのところに開通し、158号線は松本市内へのアクセス道路として使われるようになった。旧町名は、東筑摩郡島立村町区。昭和29年に合併して、現在は松本市島立となった。
2. 対象地の社会的経済的環境：まとまりのある農業集落。
3. 生業：主な産業は農業である。以前は、全戸が米作農家であったが、現在は、専業農家が4割ほど。あとは、兼業農家である。
4. 交通：松本駅から、松本電鉄島々線が1時間に1本(ないし、2本)走っている。それで10分ほど。
5. 人口：現在106戸。
6. 調査年月日：1990年8月18日  
午前11時30分～12時15分
7. 方言話者：亀井規素子氏 昭和5年2月18日生(60歳)  
言語経歴：移動歴なし。数代前からの造り酒屋である亀田屋に生まれ、育った。
8. 調査者・調査場所：沖 裕子。話者自宅。
9. 調査方法：質問法によった。アンケート法はとらなかった。
10. 凡例：以下、あいさつを記録する部分に①②という記号がある場合はどちらの言い方でも可能なことを示す。

## I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人(新婦の父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。
2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。
3. その時の新婦のあいさつがあれば記してください。

<当地では、結納は本人の前に出す。本人（新婦）が上座に座り、父親、母親の順にならぶ。>

仲人が、

○ホンジツワ オヒガラモ ヨロシク

①ダレダレサンカラ ダレダレサンニ ユイノーノ シナオ オ  
アズカリ シテマイリマシタ。

②ナニナニケカラ ユイノーノ シナオ ジサン イタシマシタ。

ドーゾ ゴジュノークダサイマセ。（本日は、お日柄もよろしく、

①誰々さんから誰々さんに結納の品をお預かりして参りました。

②何々家から、結納の品を持参致しました。

どうぞ、御受納下さいませ。）<「ホンジツワ オヒガラモ ヨロシク」  
は、必ず言う。>

新婦が受けて、

○①タシカニ ウケトリマシタ。（たしかに受け取りました。）

②アリガトゴザイマシタ。タシカニ オウケトリイタシマシタ。（あ  
りがとうございました。たしかにお受け取り致しました。）

と述べ、目録等広げて、両親に確認してもらう。

両親が、

○①イタダキマシタ。（いただきました。）

②タシカニ チョーダイイタシマシタ。（たしかに頂戴致しました。）

仲人が、結納の品々を床の間に持っていって飾り、下座へ戻り、

○コレデ ゴリョーケノ ユイノーガ トトノイマシテ シューリョー

イタシマシタ。（これで御両家の結納が整いまして、終了致しました。）

皆で一斉にお辞儀をし、

○オメデトゴザイマス。（おめでとうございます。）

新婦、両親が、改めて、

○アリガトゴザイマス。（ありがとうございます。）

<当地の昔の風習では、結納に先立って「テジメ」を入れる。テジメの日に、  
結納の日取りを決める、という段取りである。

まず、仲人は婿方へ行き、ほんの気持ち程度のお金に末広と風呂敷を付け  
たものを預かり、嫁方に挨拶に行く。嫁方はそれを受け取り、菓子折程度を  
返す。その時に、婿方からの希望の結納の日取りを相談し、その返事をもっ  
て、仲人は婿方へ告げに行く。

テジメが行われると、「アソコノ ウチデワ テジメガ ハイッタ」など

ということをよく言った。>

## II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。 \_\_\_\_\_

○コノゴロ ゴユイノーダッタソーデスネ。オメデトーゴザイマス。(このごろ御結納だったそうですね。おめでとうございます。) <この程度で、特別には言わない>

2. 嫁をもらう家の人へは、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。 \_\_\_\_\_

○アリガトーゴザイマス。マー アノー イロイロ マタ オセワニナリマスケド ヨロシク オネガイイタシマス。(ありがとうございます。まあ、あの、いろいろまた、お世話になりますけど、よろしく願いたします。)

## III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。 \_\_\_\_\_

○(イツイツ) オヨメニ イラッシュアルソーデスネ。オメデトーゴザイマス。(いついつ、お嫁にいらっしゃるそうですね。おめでとうございます。)

2. 嫁に出す家の人へは、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。 \_\_\_\_\_

○アリガトーゴザイマス。マー コンゴトモ ヨロシク オネガイイタシマス。(ありがとうございます。まあ、今後とも、よろしく願い致します。)

## IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは(親戚以外)、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。 \_\_\_\_\_

①オメデトーゴザイマス。キョーワ ワザワザ ゴショータイイタダイテアリガトーゴザイマス。(おめでとうございます。今日は、わざわざ御招待いただいてありがとうございます。)

②ホンジツワ オヒガラモ ヨク マー ワタシドモマデ ゴショータイイタダイテ アリガトーゴザイマス。オメデトーゴザイマス。(本日はお日柄もよく、まあ、わたしどもまで御招待いただいてありがとうございます)

います。おめでとうございます。) <ていねい> <当節は、「本日はお日柄もよく」とは、結納の時だけで、結婚式では、一般の人は言わない。話者の父母の頃は、結婚式でよく言っていたとのことである。>

1—2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

① アリガト—ゴザイマス。ドーゾ ヨロシク オネガイイタシマス。 (ありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。)

② アリガト—ゴザイマス。タイヘン オセワサマニ ナリマスガ ワカイモノタチ コレカラ ヨロシク オネガイイタシマス。 (ありがとうございます。たいへんお世話様になりますが、若い者達、これからよろしくお願いいたします。) <ていねい>

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

同 1

2—2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

同 1—2

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

<昔は、一軒一軒回るのを「ヨメマワリ」といった。最近では、近所の人達も一度に結婚式場によんでしまうから、近所をまわるということをおぼろしい。話者の時もすでにしなかった。V 1, 2 は、もし、言うとしたら多分こう言う」と話者がことわって、述べたものである。>

○ ウチノ コンド キタ ヨメデスケドモ コレカラ オセワニ ナリマスケド ヨロシク オネガイイタシマス。 (うちの、今度来た嫁ですけども、これからお世話になりますけど、よろしくお願いいたします。)

2. そのあいさつに答えて、近所の人にはどのようなあいさつをしますか。

① オメデト—ゴザイマス。コレカラ ナレナイ トコロデ タイヘンデシ ヨー ケレドモ マー アノー イッシヨニ ヤッテイキマシヨ—ネ。

(おめでとうございます。これから慣れないところで大変でしょうけれども、まあ、あのおう、一緒にやっていきましょうね。) <近所でも親しい人に>

② オメデト—ゴザイマス。ワザワザ オイデイタダイテ ヨロシク ドーゾ。 (おめでとうございます。わざわざおいでいただき、よろしくどうぞ。) <近所でも、それほど親しくない人に>

VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式に招かれた50歳台の女性が、屋下がりの路上で、どのようなお祝いの挨拶をしますか。

○センジツワ オヨバレシテ ゴテーネーニ チョーダイイタシマシタ。  
オメデト ゴザイマス。イロイロ タイヘンダッタシ オツカレダッタ  
デショーネー。(先日は、およばれしてごといねいにちょうだいいたしました。おめでとうございます。いろいろ大変だったし、お疲れだったでしょう。)

2. 父親は、それに 応えて、どのようなあいさつを しますか。

○アリガト ゴザイマス。コレカラモ ヨロシク。(ありがとうございます。これからもよろしく。)

#### VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦(あるいは両親)がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

<最近では、新郎新婦は、新婚旅行に出掛けているから、まず両親ができるだけ早くお礼に行く。>

○センジツワ イロイロ ユイノーカラ ヒキツツイテ オセワサマニ  
ナリマシテ アリガト ゴザイマシタ。コンゴトモ マー ヨロシク  
オネガイイタシマス。(先日は、いろいろ結納から引き続いてお世話様になりました。ありがとうございます。今後とも、まあ、よろしく願います。)

2. 仲人は、それに 応えて、どのようなあいさつを しますか。

○ワザワザ ゴテーネーニ オイデイタダイテ アリガト ゴザイマス。

<以下、新郎新婦と仲人の場合。>

○(新郎新婦) センジツワ イロイロ オセワサマニ ナリマシテ アリ  
ガト ゴザイマシタ。オカゲサマデ ブジニ リョコーニ イッテマイ  
リマシタ。(先日は、いろいろお世話様になりました。ありがとうございます。おかげさまで、無事に旅行に行ってまいりました。)

○(仲人) オカエンナサイ。オツカレダッタデショ。コレカラ フタリデ  
シッカリ ヤツテクダサイ。マタ チョイチョイ アソビニ キテクダ  
サイ。(おかえんなさい。お疲れだったでしょ。これから、二人でしっかりやって下さい。また、ちょいちょい遊びにきて下さい。)

#### VIII. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

＜結婚式のあと、3日めに、嫁の実家へ二人でそろって行くことを「ハツガエリ」という。嫁、両親ともに、言うべき特に決まった文句は、ないとのことである。この時、お赤飯と、両親にお土産をもたせる。今は、結納の時に、相手の両親へのお土産はあげてしまう。ちなみに、話者も夫の実家に「ハツガエリ」を行ったとのことである。＞

○コレカラ ソイジャー アイサツニ イッテマイリマス。（これから、それじゃ、挨拶に行って参ります。）

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○（父）コレオ モッテ ソレジャ キオツケテ イッテコイ。（これを持って、それじゃ、気をつけて行ってこい。）

○（母）キオツケテ イットイデ。アチラノ ゴリョーシンニ ヨロシク モーシアゲルヨーニ。（気をつけて行っておいで。あちらの御両親によろしく申し上げるように。）

〔花園大学 講師〕